

公開シンポジウム

環境化学物質のリスクに向き合おう 〜医学的見地からの提言を受けて

事前予約不要

2019年

1/21 (月)

16:00-18:30

入場
無料

柔軟剤、合成洗剤、タバコ、抗菌剤、
殺虫剤、化粧品、建築材、家電製品・・・。
ごくごく当たり前に、私たちの周りにあるもの。
実はその裏には様々なリスクが隠れています。

環境化学物質が私たち自身の健康に影響を与える可能性について、医療現場の最前線からお話しいただきます。大学や公共機関、そして私たちは、どのような対策ができるのでしょうか？



基調講演：坂部 貢先生
(東海大学医学部長)

場所

宇都宮大学峰キャンパス
大学会館2階多目的ホール

主催：宇都宮大学

総合司会：阪本公美子 宇都宮大学国際学部准教授

16:00-16:10 開会のあいさつ

16:10-17:10 第1部 基調講演

「微量環境化学物質とその健康影響－最新動向と課題」

坂部 貢 東海大学医学部教授

17:15-18:25 第2部 パネルディスカッション

「教育におけるさまざまな立場から環境化学物質リスクにどのように向き合うか」

コーディネーター：池田幸 宇都宮大学理事(研究・産学連携担当)・副学長

パネリスト(敬称略)：

坂部 貢 東海大学医学部長・教授

伊藤 雅幸 宇都宮市教育委員会学校健康課係長

横尾 昇剛 宇都宮大学地域デザイン科学部教授(環境工学、建築)

高橋 若菜 宇都宮大学国際学部准教授(環境政治学)

佐藤 春菜 宇都宮大学国際学部学生

18:25-18:30 閉会のあいさつ

坂部 貢

(東海大学教授)

主な研究課題は、化学物質過敏症の病態解明。専門分野は、環境生命医学、解剖学。

1982年 東海大学医学部卒業、1994年東海大学医学部助教授、2002年東京医科歯科大学大学院、国立環境研究所客員研究員、2004年北里大学北里研究所病院臨床環境医学センター長、同薬学部公衆衛生学講座教授を経て、2015年東海大学医学部生体構造機能学領域教授、2016年同大学医学部長。

ご来場者へのお願い

環境化学物質に脆弱な方でも参加できる会場づくりにご協力ください。

※ 当日は、香水や整髪剤などの人工香料の含まれた製品のご使用や、当日の喫煙はお控えくださるなど、会場への合成化学物質の持ち込みを最小限に留めて頂くご配慮をお願い致します。

※ 会場においてご配慮が必要な場合、なるべく事前にご相談ください。どのような対応が可能か、一緒に検討いたします。

会場へのアクセス

JR宇都宮駅からバスで約15分、「宇大前」
「宇都宮大学前」下車、タクシーで約10分。
〒321-8505 宇都宮市峰町350



お問い合わせ先

メール：ksaka@cc.utsunomiya-u.ac.jp

電話番号：028-649-5180 (阪本研究室 ※なるべくメールでご連絡ください)